

第16回 『Gakkouへ泊まろう!』

今年は学校を飛び出して

志津川へ行こう!



2015年 7月 25日・26日

もっと子供たちを見つめよう。



上杉チャンネット

<http://www.chan-net.com>

生活のしおり

～ 実り多い研修のために ～

同じ屋根の下で生活するわたしたちは、すべて仲間です。
○出会いを大切に、心をひらいた「あいさつ」をかわしましょう。
○研修の主役はあなた自身、「時間のゆとり」をもって行動しましょう。
○後から使う人のことを思いやり、整理・整とんに心がけましょう。

『自ら気づき、考え、実行する生活』

～出会い ふれ愛 磨き合い～

○ 入 所 「研修の目的を確かめ、出会いを大切にしましょう。」

- (1) 上履きに履きかえ、下履きは指定された所にしまいましょう。
- (2) 荷物を置いて、オリエンテーション室で入所式の準備をしましょう。
- (3) 入所式は、役割を分担し、司会者を中心にきびきびと行いましょう。

○ 起床・清掃 「協力し合って、気持ちのよい環境を作りましょう。」

- (1) 起床時刻は、午前6時30分です。すみやかに洗面・清掃に取りかかりましょう。
- (2) 宿泊室内はベッドの整理・整とんを行い、掃除機を使って清掃をしましょう。
- (3) 清掃分担区域を確認し、協力してていねいに清掃をしましょう。
- (4) ゴミ箱のゴミを分別し、指定されたゴミ箱に捨てましょう。

○ 朝・夕のつどい 「一日の始めと終わりの節目^{ふしめ}を大切にしましょう。」

- (1) 5分前に集合しましょう。場所は、「つどいの広場」または「体育館」です。
- (2) リーダーの指示のもと、きびきびとした態度で協力的に進めましょう。
- (3) あらかじめ役割分担を決め、準備を進めておきましょう。(時間は20分以内)

○ 研 修 「真剣に取り組み、たがいに学び合う場を大切にしましょう。」

- (1) 研修場所には、5分前に集合して準備をしましょう。
- (2) 研修室や設備・備品は、許可を得てから使用しましょう。
- (3) 研修後は、整理・整とんを協力して行い、借りた物は返しましょう。

○ 宿 泊 室 「共同生活のマナーを大切にしましょう。」

- (1) 研修中は、特別な用事のないかぎり、宿泊室に出入りしないようにしましょう。
- (2) 持ち物は、いつも整理・整とんをしておきましょう。
- (3) 貴重品の保管は、自分の責任できちんと行いましょう。(事務室であずかることもできます。)
- (4) 研修中は、宿泊室のドアを開けておきましょう。
- (5) 宿泊室のドアには、カギ(うちかぎ)をかけないでください。
- (6) 就寝準備(ベッドメイキング)は、寝るまでにすませましょう。
- (7) 宿泊室では、飲食や喫煙はできません。
- (8) 宿泊室にだれもいないときは、照明等を消して節電にご協力ください。
- (9) 最終日は退所点検(午前8時45分)に備え、あらかじめ準備をしましょう。

○ 食 事 「友とのふれあいを大切に、楽しく食事をしましょう。」

- (1) 食事の前には、よく手を洗いましょう。
- (2) 食事は、セルフサービスです。協力し合って配膳しましょう。
- (3) 団体の代表者の指示で、用意のできた班やテーブルから食事をしましょう。
- (4) 食器やお箸は、数人分をまとめ、食べ残し等は決められた容器に入れましょう。
- (5) 箸立て、おひつ、ふきんなどのテーブルの上の物は、すべて返却しましょう。
- (6) 食後には、テーブルをよくふき、イスを整とんしましょう。

○ 入浴・洗面 「一日の疲れをいやし、清潔な体にしましょう。」

- (1) 入浴の時間帯や浴室を確認して、利用しましょう。
- (2) 浴槽の蛇口からは、熱湯が出ますから十分注意しましょう。
- (3) 整理・整とんに心がけ、清潔に使いましょう。（おけ、腰掛け、脱衣かご、床など）
- (4) 入浴後には、忘れ物がないかどうか確認しましょう。
- (5) ぬれた場所は、よくふいてきれいにしましょう。

○ 消灯・就寝 「明日への活力を十分に養いましょう。」

- (1) 最終消灯時刻は、午後 10 時 30 分です。以後の活動はできません。
- (2) 消灯後は宿泊室の照明を消して、他の部屋や浴室等への出入りはしないでください。
- (3) 十分な睡眠をとって健康保持につとめましょう。

○ 健康と安全 「もしものときの備えを大切にしましょう。」

- (1) 具合が悪くなったり怪我をしたときは、団体の代表者（引率者）に伝えたとともに、事務室にも連絡をしてください。
- (2) 非常口、避難経路、消火器の位置を確認しておきましょう。
- (3) 非常時は、職員や団体の代表者（引率者）の指示を受け、冷静に行動しましょう。

○ 退 所 「終わりや別れを新たなスタートにしていきましょう。」

- (1) 退所式の準備をして、職員に連絡をしましょう。
- (2) 退所式は、役割を分担し、司会者を中心に主体的にきびきびと行いましょう。
- (3) 退所時は、忘れ物（上履きを含む）等の確認をしましょう。
- (4) 引率者は、退所点検前に利用した部屋の点検をしてください。

○生活時間帯 「時間を守り規則正しい生活を心がけましょう。」

詳細は、次ページを参照

○ そ の 他 「こんなことにも気をつけましょう。」

- (1) ゴミの分別収集に協力しましょう。
- (2) おやつや清涼飲料水等は、ロビーで飲食しましょう。
- (3) 館内は禁煙です。喫煙は、指定の場所で行いましょう。
- (4) 館内は裸足での歩行は禁止です。必ず上靴を履きましょう。
- (5) 所内でのガムは禁止です。
- (6) 外出や途中退所の場合は、団体の代表者（引率者）をとおして事務室にも連絡をしましょう。
- (7) 予定外の研修室や体育館の利用は、職員に相談をして行いましょう。
- (8) 施設や備品の破損・汚損の際には、すみやか事務室に連絡しましょう。

スケジュール 7/25(土)

晴天時及び海が荒れていない時

荒天時及び海が荒れている時

8:30	上小前集合	
9:00	出欠確認後、出発	
10:00 頃	トイレ休憩（矢本パーキングエリア）	
10:45 頃	志津川自然の家 到着	
11:00	開講式・注意事項説明	
11:15	注意事項説明が終了後、荷物を各自の部屋へ移動	
12:00	昼食(アルファ米)	
13:00	海にて研修 ・洋上めぐり ・いかだ作り ・海岸散策 ・バナナボート	体育館にて研修 ・紙飛行機 ・つなひき ・ぞうきんリレー ・サークルリフティング
16:00	入浴可能時間 ↓ 16:00～17:30	
17:30	夕食	
18:20	自由時間	
19:00	キャンドルセレモニー	
20:00	自由時間	入浴可能時間 ↓ 20:00～21:30 花火 （南三陸町夏祭り） 20:00～20:30頃
21:30	就寝準備	
22:00	消灯	

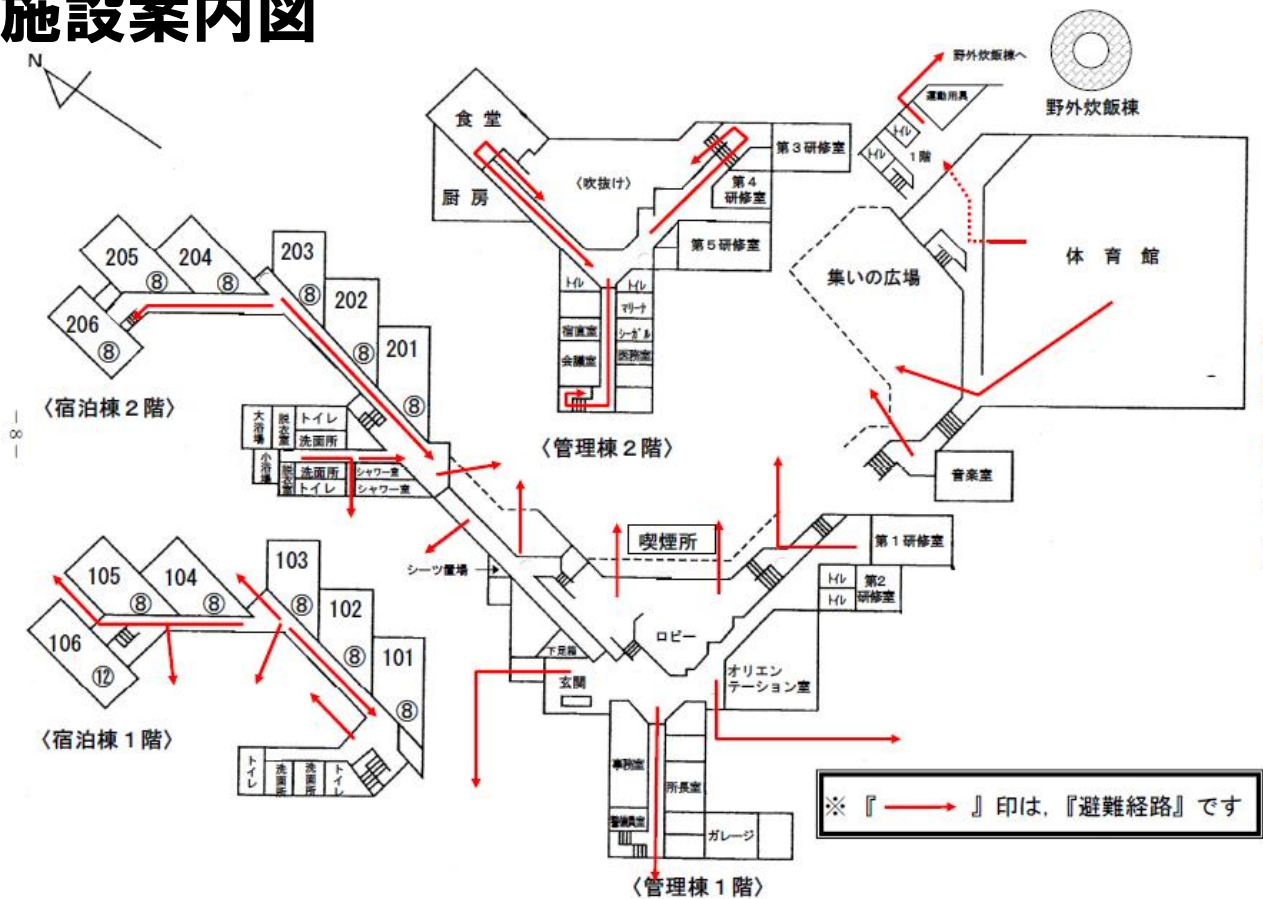
スケジュール 7/26(日)

晴天時及び海が荒れていない時

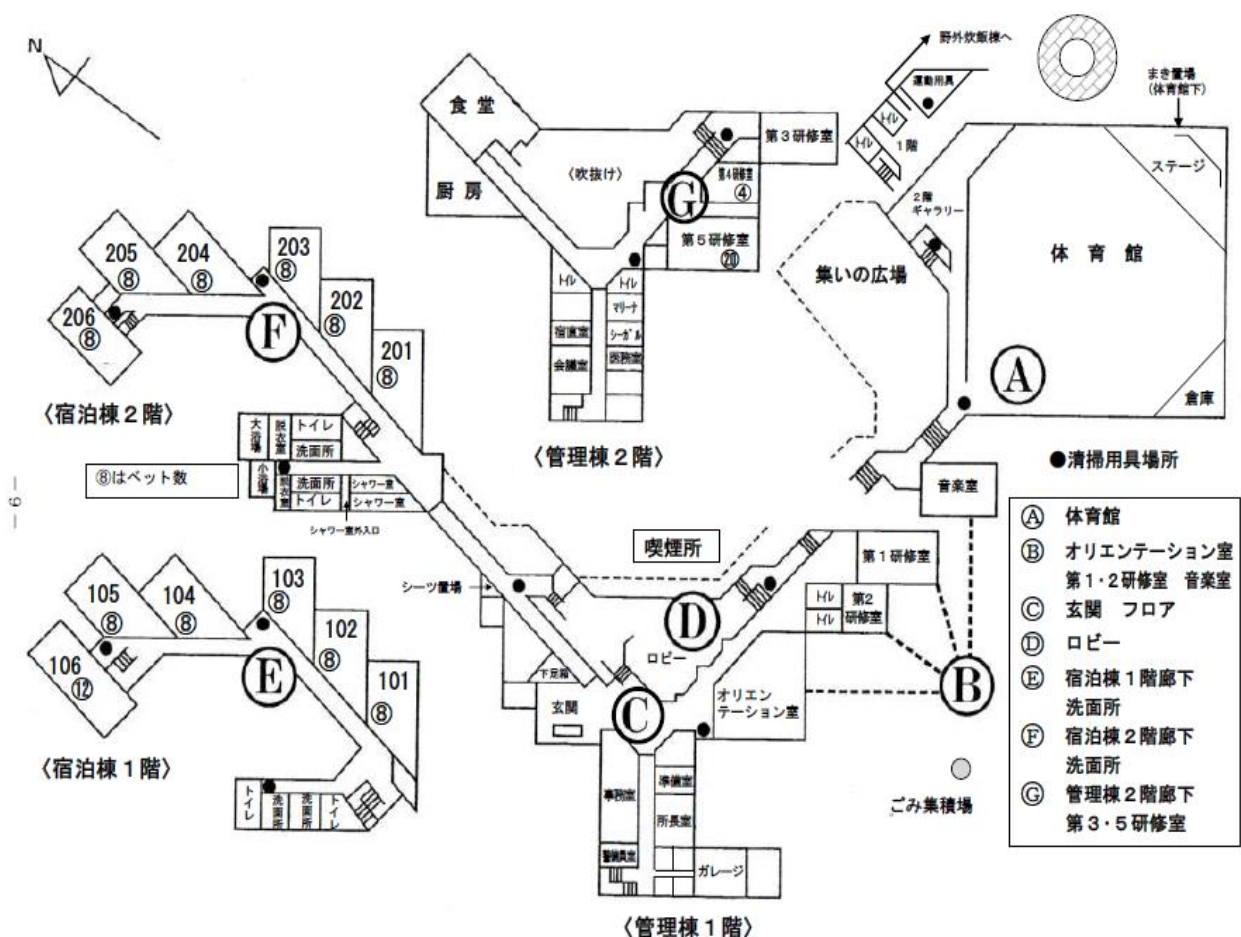
荒天時及び海が荒れている時

6:30 ~7:10	起床 清掃・荷物移動	
7:15 ~7:30	朝のつどい	
7:40 ~8:20	朝食	
8:45	退所点検	
9:00	バス移動	
9:30	語り部ツアー (被災地見学) 南三陸ポータルセンター発 → 防災対策庁舎(降車予定) → 戸倉中学校(降車予定) → 南三陸ポータルセンター着(さんさん商店街)	語り部講習 (観光協会会議室)
11:30	バス移動 → 志津川自然の家へ	
12:00 12:40	昼食	
13:00 ~13:10	雀踊り(玄関前)	雀踊り(体育館)
13:20	退所式・記念撮影	
13:30	人数確認後、出発	
14:00 頃	トイレ休憩 (道の駅 津山(もくもくランド))	
16:00 頃	上小前集合、解散	

施設案内図

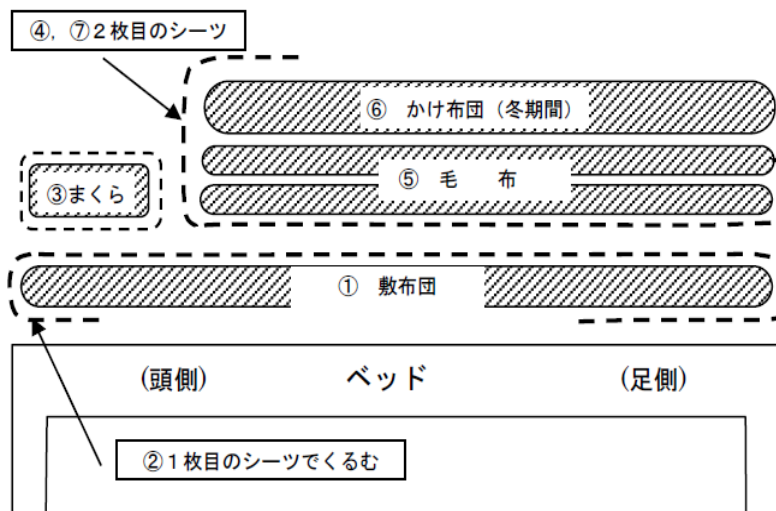


清掃区域



ベッドの作り方

- ① 敷布団をしく。
- ② 1枚目のシーツで敷布団を包み込む。
- ③ 枕をカバーに入れる
- ④ 2枚目のシーツを1枚目のシーツの上にかける。
- ⑤ 毛布をかける
- ⑥ かけ布団をかける。(冬期間)
- ⑦ 2枚目のシーツの端を折り、えりカバーにする。

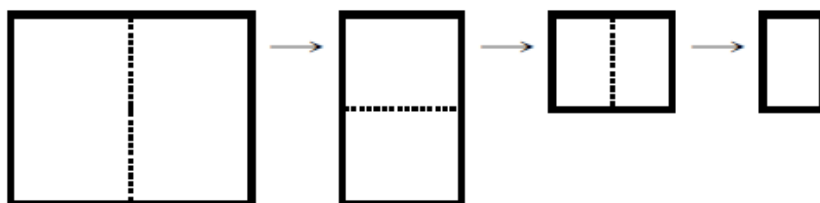


夏期間

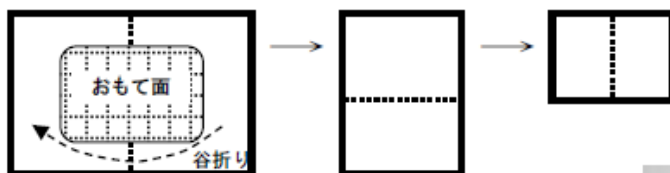


整頓の仕方

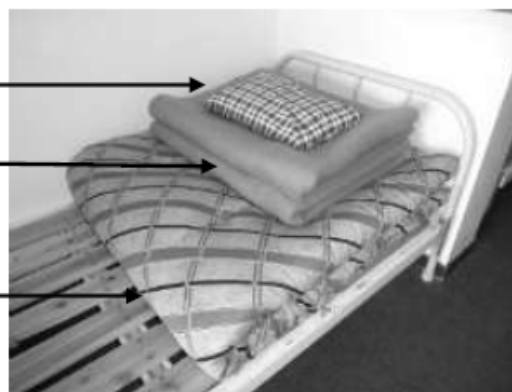
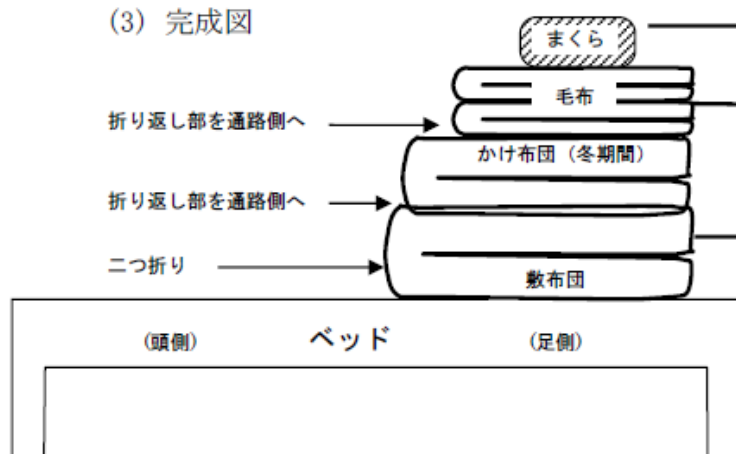
- (1) 毛布のたたみ方 (長い方を3回おる)



- (2) かけ布団のたたみ方 (長い方を2回おる-おもて面が内側)



- (3) 完成図



おまけ

バスの中や、自由時間にぬりえをしよう。



入所式・退所式次第

1 入所式次第 司会・進行 … ()

- 1 開式のことば …………… 司 会
- 2 研修生代表のことば（研修目的や決意など）… 研修生代表
()さん
- 3 あいさつ …………… 自然の家職員
- (4 団体歌 …………… 研修生全員)
- 5 閉式のことば …………… 司 会

※ オリエンテーション（20分程度）
（所での生活を円滑にし、研修を充実させるために行います）

2 退所式次第 司会・進行 … ()

- 1 開式のことば …………… 司 会
- 2 研修生代表のことば（研修目的や決意など）… 研修生代表
()さん
- 3 あいさつ …………… 自然の家職員
- (4 団体歌 …………… 研修生全員)
- 5 閉式のことば …………… 司 会

洋上めぐり実施要項

1 ねらい

船で志津川湾内を巡り、ホヤ、カキの養殖の様子や自然について職員から説明を受けることによって、自然のすばらしさや環境に関心を持たせる。



2 対 象 3人以上の団体

3 実施時間 60分

4 乗船人数 はまなす(定員26人) あさひ(定員26人)

※乗船できる人数は、大人24人までです。

5 準 備 物

(1) 各団体ごと

・運動着 ・帽 子 等

(2) 自然の家

・カッター(はまなす、あさひ) ・救助艇(曳航艇)
・ライフジャケット(人数分)

6 経 費 無料

7 流 れ

- (1) 移動 自然の家→艇庫前
- (2) あいさつ・事前指導 自然の家の職員より、乗船時等の注意事項
- (3) ライフジャケット着用
- (4) 乗船・出航
- (5) 洋上めぐり・養殖施設見学
- (6) 帰港・下船
- (7) あいさつ
- (8) ライフジャケット返却
- (9) 移動 艇庫→自然の家

8 そ の 他

- (1) 各団体の責任者は、事前に乗船割り当てをしておく。
- (2) 乗船中(活動中)は、引率および自然の家の職員の指示を確実に聞くよう事前指導をしておく。
- (3) ライフジャケットを汚した場合は、水道水でよく洗い返却する。
- (4) 船酔いする場合は、乗船前に酔い止め薬を服用しておく。

海岸散策実施要項

1 **ね ら い** 海岸を散策しながら、海藻や貝殻やカニ等を見つけて磯場の自然に親しむ。

2 **対 象** 3人以上の団体

3 **場 所** 志津川自然の家近隣の海岸

4 **準 備 物** ○団体
ビニール袋、マリンシューズ
水にぬれてもよい服装、バケツ等
○自然の家
磯の生き物観察カード



5 **経 費** 無料

6 実施上の留意点

(1) 安全上の注意を十分に行う。

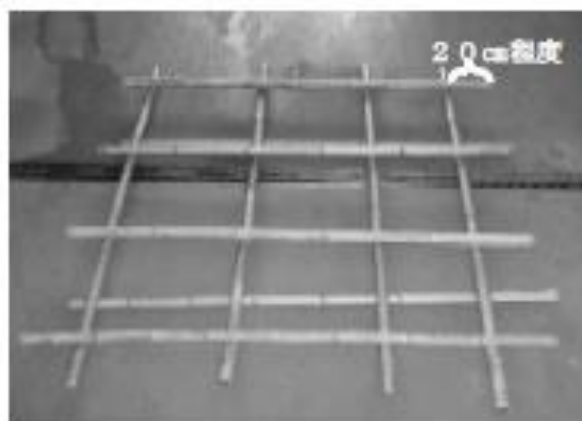
特に、足場やカキがらでの怪我、クラゲ、深場、波等に十分に注意し、また危険な行為はしないように指導する。

(2) 観察したり採集したりしたものを持ち帰らないように指導する。

いかだ作り・遊び実施要項

- 1 ねらい
仲間と協力していかだ作りに取り組み、海にこぎ出して海の自然の楽しさを味わう。
- 2 対象 原則として小学4年生以上
- 3 乗艇人数 一艇につき6人（※最大8人まで）
- 4 準備物
 - (1) 各団体
 - ・班単位……はさみ、ロープ1巻（おリブピの製6mm×200m）、ゴミ袋（ロープ回収用）
 - ・個人……水着、着替え、バスタオル、マリンシューズまたは濡れてもよい靴
 - (2) 自然の家……竹（10本）、チューブ（4本）、コンパネ（2枚）、かい（1艇につき6本）
- 5 経費 無料
- 6 活動の概要

- (1) 竹10本を、右図のように並べる。
（※以下、右図の上段の4本の竹を『上の竹』、
中段の4本の竹を『下の竹』、一番下の2本
の竹を『土台の竹』と呼ぶ）
なお、上の竹と下の竹は幾間隔に並べる。
- (2) ロープを大人の腕の長さで「2ひろ」
の長さに切る（子どもは「3ひろ」）。
…16本
- (3) 上下の竹の交差しているところを、ロ
ープで固定する。

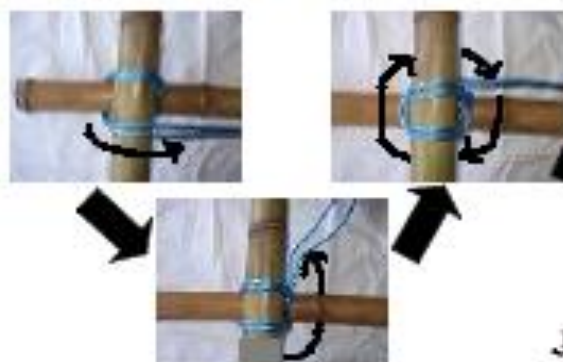


・切ったロープを真ん中から折り、2本にする。そのロープを下図①～⑦の手順で結びつけ、上と下の竹を固定する（交差している16カ所を本結びで結びつける）。

- ①下の竹にロープの輪の方を通す。
- ②輪の中にロープの端を通し引っ張る。
- ③交差している上の竹にロープをかける。
- ④下の竹の下方からロープを通し上の竹に平行にかける。



- ⑤元の位置に戻ったら上下の竹の間をロープで強く締める。



- ⑥ロープのひとつを残し、もう一方を反対側にまわす。



1本を反対側にまわす

- ⑦上の竹の上で両方のロープを本結びし、長い分は切る。



(4) 2本の土台の竹を取り除く。

(5) チューブ4本を竹に結びつける。

- ・ロープを大人の腕の長さで「3ひろ」の長さに切る（子どもは「4ひろ」）。
- …16本



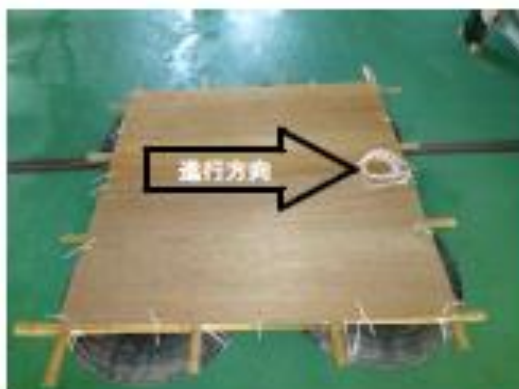
- ・切ったロープを真ん中から折り、上の竹に通す。2本にしたロープの一本を折り曲げ、枠の中に入れる。もう一本は、枠の外に置く（全部で16カ所）。



(6) 空気を入れる管を下に向け、上の竹にチューブを4本のせる。チューブ1本につき4カ所をロープで結ぶ。

結ぶ時には、チューブを軽くひざで押さえながら、二人一組で向かい合って結ぶとバランス良くできる。余分なロープは、はさみで切る。

（注意：チューブを傷つけないよう、刃先を上に向けながら行う）



(7) チューブを付け終わったら、ひっくり返す。コンパネ2枚を上のにのせ。穴の開いているところを先ほど切った余分なロープで結ぶ。その後、長めのロープを進行方向の中央に結ぶ。

（救助・けん引用）



(8) かいをコンパネの中央にまとめて置いて

完成！！

- (9) 水着になり、ライフジャケットを着用する。
- (10) 陸上でこぐ練習をする。
- (11) 全員で海岸（スロープ）にいかだを運ぶ。このとき、チューブがバンクするのでいかだは引きずらない。（注意：スロープは滑るので慎重に）
- (12) 全員で力を合わせ、目標に向かってこぐ。
- (13) 終了の合図で岸に着ける。岸壁にいかだを揚げ、自然の家職員がロープを切る。
- (14) かい、コンパネ、竹、チューブを水道水で洗い、指示された場所に返納する。
- (15) ライフジャケットを水道水で洗い、指示された場所に広げて干す。
- (16) 体を洗い、着替える。

<いかだ遊びの様子>



バナナボート実施要項

1 ね ら い

志津川湾内をバナナボートに乗って走ることににより、海との一体感やすばらしさ、スリルを体感させる。

2 対 象 小学4年生以上

3 実施時間 5分～10分

4 乗船人数 1艇につき5名まで（バナナボート2艇）



5 準 備 物

(1) 各団体ごと

- ・濡れてもいい服装（水着等）

(2) 自然の家

- ・バナナボート ・水上バイク ・救急艇 ・ライフジャケット（人数分）

6 経 費 無料

7 流 れ

- (1) 移動 自然の家→艇庫スロープ付近
- (2) ライフジャケット着用
- (3) あいさつ・事前指導 自然の家職員より、乗り方、注意事項の説明
- (4) 出 発
- (5) 帰 着
- (6) ライフジャケット返却
- (7) あいさつ 艇庫スロープ付近
- (8) 移動 次の活動へ

8 そ の 他

- (1) 各団体の責任者は、事前に5名ずつのグループ分けをしておく。
- (2) 引率および自然の家の職員の指示を確実に聞くよう事前指導をしておく。
- (3) メガネ、コンタクトレンズ、ピン等はあらかじめ外しておく。
- (4) マリンシューズ(ビーチサンダル)は脱いで、裸足で乗る。
- (5) ライフジャケットは、水道水でよく洗い返却する。
- (6) スロープ付近は、滑りやすいので歩行に注意させる。
- (7) ボートから落ちた場合は、落ち着いて職員の指示に従うよう話しておく。

キャンドルセレモニー実施要項

1 ねらい

キャンドルのともしびを囲んで、友情を深め、新たな希望を生み出す。

2 プログラム立案の留意点

第1部は「過去のともしび」、第2部は「現在のともしび」、第3部は「未来のともしび」と位置付けます。

第1部や第3部の儀式では、自分や仲間の過去を振り返り、将来を考えます。だから、私語は交わすことができません。第2部は友情を深める場ですが、親睦を深め、大いに楽しみましょう。

3 準備について

(1) 係分担(例)

- | | | | | | |
|-------|-----------------|------------|--------|------|-----------|
| ・司会 | 1～2名 | 進行担当、交代可 | ・詩朗読 | 1名 | 詩の準備と朗読 |
| ・火の神 | 1名 | 火の使者、点火の言葉 | ・消点灯 | 1名 | 照明器具の操作 |
| ・火の子 | 3～5名 | 班代表、誓いの言葉 | ・準備 | 6～7名 | 使用物の準備・世話 |
| ・夜話 | 1名 | 指導者等 | ・効果 | 1～2名 | 音楽やマイクの準備 |
| ・スタンツ | (班ごと、内容の重複を避ける) | | ・誓いの言葉 | 1名 | 代表者 |

(2) 準備物

- ①団体で準備するもの
- ・ローソク(大・小) 放送機器(アンプ・マイク) CDプレーヤー 懐中電灯
 - ・ドラムコード
- ②自然の家で準備するもの
- ・団体用燭台 (3台…体育館1, ロビー用1, 音楽室1)
 - ・個人用燭台 (放送室に保管しているもの, 150個程度、火の神、火の子用20個)
 - ・火の神・火の子の衣裳 (持参も可能)
 - ・床シート (床の保護のために使用、体育館器具庫に保管しているもの、または新聞紙)

(3) 会場

- ・体育館 (130名程度)
- ・音楽室 (30名程度)
- ・ロビー (50名程度)

4 経費 無料

5 プログラム例 (団体の創意工夫で取捨選択し、プログラムを構成してください。)

部	進	行	係	内	容	備 考
第 1 部 過 去	1	集 合	全 員	燭台を囲み、静かに起立する。 (照明を消す。)	歌	
	2	歌	全 員	♪「遠き山に日は落ちて」を歌う。 (1番は歌で、2番はハミングで)		
	3	火の神・火の子入場	火の神 火の子	ハミングが始まったら、火の神は火の子を促 えて入場する。		
	4	点火の言葉	火の神	キャンドルを高く掲げて力強く述べる。		
	5	分 火	火の神 火の子	火の神はそれぞれ「何の火か」を説明して 火の子に分火する。		
	6	誓いの言葉	火の子	トーチを高く掲げて誓いの言葉を述べる。		
	7	全員点火	全 員	火の神・火の子から全員へ点火する。		
	8	詩の朗読	係	全員の心に印象づける。		
	9	黙 想	全 員	火をみつめ、やがてまぶたを閉じ、過去を振 り返る。		
	10	歌	全 員	♪力強く重みのある歌を全員で歌う。「若者 たち」などの曲。 (終わったら火を消す。)	歌	
		(第1部終了を告げる)				

部	進 行	係	内 容	備 考
第2部 現在	ス タ ン プ (第2部終了を告げる)	消点灯 準備 全 員 班	(照明をつける。) (燭台を片隅に移動させる。) ◎演出を工夫して、全員が交流を楽しむ。 ・各班の演技を披露する。 ・歌やダンスやゲームをする。 (間を空けないよう気をつける)	小道具
第3部 未来	1 集 合 2 全員点火 3 歌 4 夜 話 5 黙 想 6 決意の言葉 7 歌 8 火の神・火の子退場 9 おわりの言葉	全 員 消点灯 全 員 全 員 指導者 全 員 代 表 全 員 火の神 火の子 進 行	燭台を囲み、静かに起立する。 (照明を消す。) 火の神・火の子から全員へ点火する。 ♪火を動かしながら、静かな歌を歌う。曲は「ふるさと」など。 締め括りにふさわしい、人生等を話題とした短い話をする。 火をみつめ、やがて黙想し、未来を思い、前途を誓う。 これからの前途について誓う。 ♪「今日の火はさようなら」など、終わりにふさわしい歌を歌う。 歌にあわせて入場と逆のコースで退場する。 感謝をこめて、終了を宣言する。	歌 歌

※「点火の言葉」例

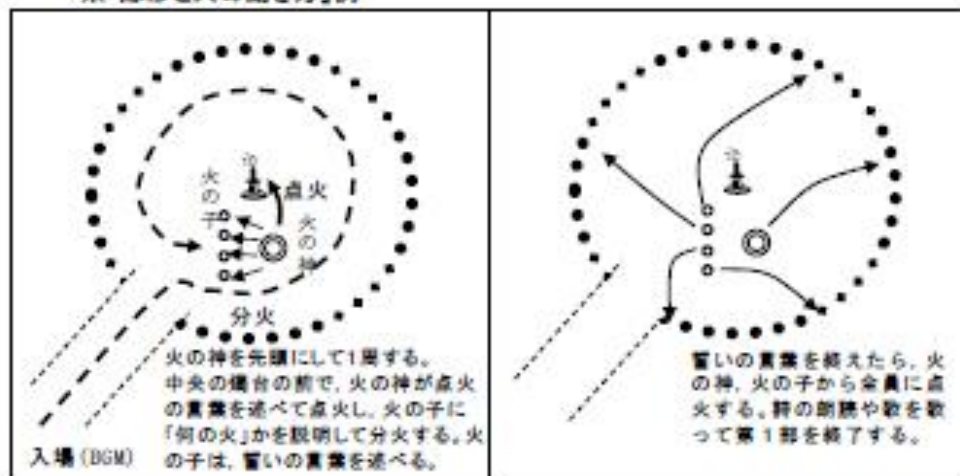
今、私たちの目の前にあるともしびは、今から何万年も前に、私たちの祖先が残してくれたものです。人間の行く手を照らす、このともしび、心の中まで温かくする、このともしび。私たち人間は、この火を人間の幸せにばかり使ってきたのでしょうか。

長い歴史の中には、私たちの仲間を置き、ある時には、人々を不幸せにしてしまったこともあります。私たちは、火を人間の平和と発展のためにだけ使わなければなりません。一人一人の心の中に、また、自分のまわりの人々や、地域や、社会の中に、あたたかい明かりをともしていきましょう。

※「誓いの言葉」例

- (例1) 私たちは、仲間の一人一人を大切にすることを誓います。
(例2) 私たちは、未来に向かって、常に前向きに進むことを誓います。
(例3) 私たちは、悔いのない青春時代を過ごすことを誓います。
(例4) 私たちは、共に助け合い、友情を深めることを誓います。
(例5) 私たちは、社会人として、恥じない行動をすることを誓います。
(例6) 私たちは、世の中に温かい明かりをともし人になることを誓います。
(例7) 私たちは、夢多き人生を堅実に生きることを誓います。

※「隊形と人の動き方」例



＜火の移し方＞



朝のつどい

7:15～

○ 係

- ・ 司会者 …
- ・ 旗の係 …
- ・ 講話 …
- ・ 体操リーダー …
- ・ 感想発表 …

○ 進行

- 1) 7月26日 日曜日、朝のつどいを始めます。
元気にあいさつをしましょう。「おはようございます」
司会は、()と()です。宜しくお願いします。
- 2) 国旗、県旗、所旗の掲揚を行いますから、
係の人は準備をお願いします。係以外の方は
旗に注目してください。＜旗を揚げ、礼が終わったら＞
「ありがとうございました。係の人に拍手をお願いします。」
- 3) お話をいただきます。今朝は、上杉チャネル代表の
中谷陽介さんをお願いします。
- 4) ラジオ体操をします。体操リーダーの人は、前に出てきて
ください。それ以外の方は体操ができるように広がってください。
＜終わったら＞ …… ありがとうございました。
リーダーの方に拍手をお願いします。元の隊形に戻ってください。
- 5) 6年生の代表の方から、感想を発表していただきます。
始めに()さん、お願いします。 ……ありがとうございました。
次に()さん、お願いします。 ……ありがとうございました。
- 6) 自然の家からの連絡を()先生をお願いします。
……ありがとうございました。
- 7) これで 7月26日 日曜日、朝のつどいを終わります。
お疲れ様でした。（きちんと礼をする）

※ 司会者は、20分以内に終わらせるように、きびきびとした態度で進める。

退所時自主点検表

※退所日の朝8時45分には退所点検を行います。それ以前に荷物移動を終了し、以下の項目について自主点検をして備えてください。
責任者や部屋の代表者は退所点検の立ち会いをお願いします。

場所	番号	点 検 内 容	結果
宿 泊 室	1	掃除機で掃除がなされ、ゴミや汚れがない。	
	2	ゴミ箱のゴミが捨てられて空になっている。	
	3	寝具類が正しく、丁寧にたたまれ、つぶれたりしていない。	
	4	予備の寝具類が、部屋の奥にきちんと整頓されている。	
	5	ベッド1台につきハンガーが2本ずつある。	
	6	ベランダにゴミがなく、サンダルがそろえられている。	
	7	部屋の中に忘れ物がない。(ベッド下を注意する。)	
	8	カーテンがもとに戻され、ガラス戸が施錠されている。	
	9	電灯が消されている。	
廊 下	10	ゴミ箱のゴミが捨てられて空になっている。	
	11	ゴミ箱にビニール袋がセットされている。	
	12	ゴミがなく、清掃ロッカー内が整頓されている。	
洗 面 所	13	洗面器が立て掛けられ、コップが整頓されている。	
	14	ゴミ箱のゴミが捨てられて空になっている。	
	15	電灯が消されている。	
	16	水で濡れているところがない。	
ト イ レ	17	サンダルがそろえられている。	
	18	電灯が消されている。	
	19	トイレトペーパーが補充されている。	
その他			

もちものリスト

チェック欄	品目	備考
☐	着替え	下着等 適宜
☐	水着	濡れても良い服装
☐	筆記用具	
☐	水筒	
☐	体育着	児童の皆さんは、体育着で来てね。
☐	雨具	
☐	タオル	汗拭き用・シャワー用
☐	はさみ	いかだ作りで使います。
☐	洗面用具	歯ブラシなど
☐	はんかち・ティッシュ	
☐	上履き	
☐	懐中電灯	
☐	健康保険証	児童のみ参加の場合は必須(コピー可)
☐	貴重品類	個人で管理できるものに限る
☐	常備薬・酔い止め	必要な方のみ
☐	箸・スプーンなど	割りばしの方も各自持ち帰りです。
☐	おやつ	適宜(300円程度)
☐	ごみ袋	
☐	参加費保護者用名札	上小⇄志津川の移動中のトイレ休憩時に使用

もちものには「名前」をかきましょう

- ご自分のお子様だけでなく、他の子供のお世話もお願いします。
- 参加する保護者の皆さんにはお手伝いをお願いします。
スタッフの方から呼びかけますので宜しくお願いします。
- 宿泊する部屋番号、いかだ作りの班、バナナボート、